

# 安心して暮らせるまちづくりを 行政と一緒にやって

昨年11月から今年1月にかけて、県内10市の首長にご出席いただき、生協組合員と行政との懇談会が開催されました(防府市は1/29、長門市は1/30、山口市は1/31を予定)。

この懇談会は24年目となり、首長と住民(生協組合員)が「くらしをよくするためのテーマ」を話し合い、お互いの理解をすすめながら、行政との協同活動や、住民の声を反映させた住みよい街づくりにつながることを目指しています。

## 岩国

### テーマ 「エシカル、SDGsについて」

コープのSDGsに関する取り組みとして、「岩国れんこん掘り取り体験」「がん検診」「岩国市スポレクフェスタ」等の活動を紹介しました。また、岩国市からは食品ロスの現状や、新設されたごみ焼却施設サンライズグリーンセンターでのごみ分別についてお話いただきました。市の計画にも次年度からSDGsの視点を取り入れて推進すること、コープやまぐちとしても組合員への広報や学習を積極的に行うことで、共に進めていけたらと思います。



▲福田良彦 岩国市長(前列中央)と。(11/12)

## 下関

### テーマ 「エシカル消費とSDGs」「地域包括について」

SDGsに関して、もずく基金などコープが取り組むエシカル消費について紹介しました。市のプロジェクト「クールチョイスしものせき」のパネリストに依頼された経緯から、今後も市のイベントに積極的に参加していきたいと伝えました。また、ゴミの分別について、出前講座やごみ収集車の実演・展示も可能とお聞きし、学習会として次年度から活動に取り入れていきたいと思えます。地域包括は分野ネットの見守り活動を紹介し、市の担当者さんとの話はずみ、和気あいあいとした懇談会となりました。



▲前田晋太郎 下関市長(前列左から3人目)と。(11/19)

## 美祿

### テーマ 「子育て支援、SDGsを広げる取り組みについて」

宅配のハウスなどコープの拠点が今後市内の中心地にできるとしたら、親子の居場所や高齢者のサロンの役割も担えることから、事務所移転などで空く建物の情報提供も行政の方からいただきたいというお話ができました。また美祿市では世界ジオパーク(※)の認定を目指し、ふるさとを知り守るために何ができるかを子どもたちに伝えることを進めているとのこと。組合員にも興味を持ってもらえるよう、お知らせを続けていこうと思いました。



▲西岡晃 美祿市長(左から3人目)と。(11/29)

## 光

### テーマ 「高齢者になっても安心して暮らせるまちづくり」

虹ヶ丘コープ委員会のメンバーも出席し、認知症サポーターの出前講座を委員会で活用したことを報告。市からは光市介護支援ボランティア制度の現状をお聞きし、高齢者が集える場として、ここと島田店集会室の活用を提案したところ、大変喜ばれました。市長より、『「三つの“わ”(対話・人の和・調和)」を合言葉に、市民との絆を深め、協働していきたい』とご挨拶いただき、市民の1人として、ボランティア登録する等、見守り活動に携わってきたいと感じました。



▲市川照 光市長(前列中央)と。(11/29)

※世界的に貴重な地質、地形、火山などの地質遺産を複数有する自然公園。世界遺産の地質版ともいわれ、世界ジオパークネットワークが審査・認定を行っている。



今後も行政と一緒に  
住みよい  
まちづくりを  
目指していきます。

## 萩

### テーマ 「SDGs」

SDGsに関して「平和」「住み続けられるまちづくり」「食育」について、意見交換を行いました。ピースフォーラム・食育活動などを報告し、行政サービスの在り方でゴミ収集の効率化や移動手段的確保などが重要課題だというお話と、「住み慣れた地域で暮らし続けられるよう手当てしていきたい」という市長の思いを伺いました。地産地消や萩の海の恵みの大切さを子どもたちに伝え、故郷に戻ってきてほしい、また萩市が存続できるよう市と組合員が協力していこうと話し合いました。



▲藤道健二 萩市長(前列中央)と。(12/26)